## "号外,パート32 平成29年11月11日 発行所:四国時報

## 人非人 横山強シリーズを続けるのは!!

〒768-0011 観音寺市出作町 603-3

横山強氏は抗議書の中で『平成28年1月20日』筆者に謝 罪したことで終わったにもかかわらず、記事を続けるのは 電話 0875-25-6883 編集発行人 木下俊明

信義に反すると主張している。確かに立会人の顔を立てる手前もあり「今回の不始末はこれで終わりにしましょう」とした事実は本紙第 52 号②ページ3 段目に記してあるとおりである。ただし③ページ1 段目の中より、横山氏が森本氏の民事訴訟には一切関っていないと虚偽の供述があり森本氏も虚偽の供述をヌケヌケと話す。本紙に「こんな子供騙しのような話をヌケヌケと筆者に話す森本氏の本性を見透かしたので、以後の話は信じないと筆者は固く決意した。又、この度横山強氏の行為でこれまでのような信頼関係を維持することは難しい(今後の同氏の行動次第)と思っている。」とはっきり宣言している。(52 号参照)当日形だけの謝罪の弁の直後での話しである。

つまり、この宣言どおり報道を続けているのである。これが抗議書項目  $(35-1) \sim (36)$  への回答である。

横山氏は再度目を凝らして52号を読み直せ。

ついで、58 号の見出しで信念の変節ぶりを罵せられたとあるが、かつて横山氏は己の信念だとして「無駄な視察旅行(観光)には唯一参加しないのだと常々自慢していたのに派の力学に便乗して議会運営委員長のポストに付けてもらうやいなや、これまで辛抱していた不参加が堰を切る如く議員視察に参加しだした。

横山氏はこれを己の支持者や有権者又は、自分がこれまで喋った人々に信念の放棄を伝えたのか?

故に本紙 58 号の紙面を精読しなおせ。そして自問自答せい。お望みとあらば今年度横山氏の視察の全部を報道する用意があるが、いかが?これが抗議項目(38)への回答である。

抗議項目(40)の記述には「呆れて釣が来る」本紙に泣きついてあれだけのエロ医師関連記事を無料で掲載させておきながら、かつ、本紙30部以上を毎号これまた無料で届けてもらっていたにもかかわらず、費用面には一切知らん顔なので名目を用立てと相手にやわらかく請求した。それも10部1年分のたったの3万円である。物事には価値があるのが常識だ。世間の噂では、あれだけの記事だから相当な代価をもらって書いているぞ!!などと話題になっていたと耳にするがその実際は本紙は相当なリスク(名誉毀損)覚悟で取り扱ったことを横山氏はその記事で本紙の購読者が増えて利益を得ていると。寝ボケた暴言を抗議書に記述している。許せん!!この横山氏の申しようは!!絶対に看過出来ない発言である。

さらに横山氏の記事や他の記事を四国時報はウソや捏造、居酒屋談義をそのまま報じていると断言している。

## ≪横山強氏に告げる≫

- ①本紙の報道のどの部分が横山氏の主張する記事なのか具体的に提示して立証せよ。
- ②横山氏憎しで、デタラメやウソの記事で、いやがらせ連載で虚偽記事を書いて購読者を増やしたことでエロ医師記事等の対価を相殺するに値すると談じておる。 この事を立証せよ。
- ③抗議書の文言字句の表現等に筆者を侮辱かつ喧嘩を売ると受け止められる。よって 横山氏が公職(議員)にある限り「不俱載天の敵」と認定する。 この事実を横山氏の望みどおり拡く三豊市はもちろんホームページで天下に報じ、そ の判断は読者や有権者に委ねよう。
- ◎筆者を舐めた事を後悔先に立たず来る選挙で思い知ることになるやも?

このような出方であるなら本紙は、横山強氏と森本美代子氏に対して、本紙に掲載させたエロ医師事件関連や過去横山氏を擁護した記事代の相当額を請求する。世間では、記事掲載が無料であった事実を知れば評価されるだろう。逆に横山氏森本氏たちの非常識と厚かましさに呆れるだろう。

抗議書のまとめに「城中議長と横山氏に対して三豊市議会に赴き男らしく非を認めて謝罪できますか?」との記述があるが、一体何を謝罪するのか?入手した情報でもって報道の自由・表現の自由他憲法で保護された範疇で報道しておる本紙に反論、抗議はご自由だが「男らしく云に」などと、軽々な文言を発す以上それなりの覚悟と責任から逃れられないことを念の為申し上げておく。(続く)

**〔追記〕**このたびは抗議書と通告書は横山氏の能力の低さを如実に表している。議会質問事前提出分でも事務局の人が頭をひねることが多いと昔聞いたことがあったが、今回なるほどとよく分かった。文章表現は読む相手に分かりやすくせよ。

仮にも市議という政治家である限り、プライベートであっても全て有権者の知る権利の 対象となることも知らぬ間抜けで、森本氏他の世話や相談に乗るのが議員の務めとさも、 もっともらしい弁明を臆面もなく述べておるが。

相談も世話も常識の範疇で行うべきであり、後家の居宅で二人きりで深夜徹夜でしかも 「殴ったり」「美代子!」と呼び捨てる行為のどこが議員のあり様と言うのか!!

